

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニュース

No: 34

09年5月20日

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2
国会会館1F 大阪労連気付
TEL 06 (6353) 6421 FAX (6353) 6420

「最低賃金1400円以上に」 大阪労連労働局交渉



5月19日、「最低賃金の時間額1400円以上への引き上げと全国一律最低賃金の法制化」を求め労働局との交渉を行いました。交渉には、11の単産・地域労連から22名が参加し、労働局からは、監督課1名・賃金課3名が対応しました。

青年部の参加者は「私は一ヶ月の最低賃金生活の体験でしたが、今実際にそういう生活をしている人は将来が不安だと思います。」と発言し共感をよびました。詳細は「大阪労連最低賃金ニュース」で。

青年中心でメーデー前夜祭 130人が参加 4月30日 高槻島本労連



私たちの働く環境がきびしくなり、平日のメーデー（5月1日）には参加したくても参加できない労働者が増えています。それも青年労働者がきびしくなっています。

そんな中で、メーデーの伝統を青年に引き継ごうと高槻島本地域メーデー前夜祭実行委員会を青年中心に組織しました。実行委員長は全教・高槻教組の山口青年部長、実行委員は福祉保育労と全教が中心となり、全体司会や受付、テーブル交流のまとめ役などを引き受けました。

実行委員会ではテーブルの座り方で論争になっ

たことがありました。「せっかく青年が集まるのだからちがう組合の人と」「いや職場でも話ができないから同じ職場の人と話がしたい。」などなどです。どの意見も職場の厳しさを反映していて話し合いは有意義でした。

当日は、メーデーのことを知らない青年が多いので、「メーデーとはなに」というテーマで植田保二前大阪労連議長に講演していただきました。

高槻市にある社会福祉法人大阪府衛生会職員の日野さん、藤本さんが昨年10月20日に解雇されるという事件が起きました。それをきっかけに、福祉保育労大阪府衛生分会が結成され、解雇撤回、職場復帰実現の訴えが分会からありました。「不当なことは許さない」と全国的に続々と組合が結成されていますが、そのひとつです。

その後は、軽食を取りながら、テーブルごとに自己紹介、職場の話などの交流をしました。10人ごとのテーブルを10台用意したのですが、椅子がなくなり急遽増やすといううれしい忙しさでした。

高槻教組青年部の「ひとりじゃないよ」（09年青年フェスタのテーマ曲）などの歌、市労組を中心とした「三十石舟」歌と踊り、年金者組合の「2人芸」、北部センター合唱団の「メーデー歌集」などで楽しみました。

それぞれの組合には芸達者でユニークな人が多いことを発見するいい機会となり、来年もやろうとの声がありました。

最後に、「12連休になったが4月26、27日に関しては賃金カットすると会社が提案してきたが、そんな提案はのめないと会社と交渉し、賃金カットなしで有休で対応することになった」組合、「5月1日は利用者が多いので教習所を営業したいという会社の再三の提案をけり、教習所を休みにして全員がメーデーに参加する」高槻自動車教習所組合を紹介。このようにたたかいながらメーデーに参加する労働者がいることを報告し、全国357ヶ所で開かれるメーデーと連帯して翌日のメーデーを成功させようと締めくくりました。（文責 高谷二郎高槻島本労連議長）

野宿者支援夜回りにも参加 大阪労連青年部

大阪労連青年部は5月2日、夜8時から10時まで西成で行われている「野宿者ネットワーク」の夜回りに参加しました。6名が日本橋・心斎橋・天王寺の3地域を回り、1班で10人前後の方に声をかけをしました。多くの野宿者の方から「この不況で、日雇いの仕事も無い」という声が聞かれました。また、「生活保護も申請できる」との夜回り隊の言葉に、ほとんどの方が「まだ自分で何とかできるからいいです。」と返事をしていました。夜回り隊の生田さんの話では、「派遣村以降、生活保護の申請はしやすくなっているが、申請が通りやすいのは30歳くらいの若い人。50歳ぐらいになると通らない。年を取れば取るほど仕事も減るのに、変な話です。」本当にギリギリまで我慢して、身体を壊すなどして始めて生活保護や医療に頼れる、そんな現状が垣間見えました。これから暑くなるにつれて、野宿者に対する襲撃も増えてくるということです。困ったときに相談ができる「野宿者ネットワーク」の大切さを感じると同時に、私たちが行政へ働きかけ、すべり台社会を変えていくことが必要だと思いました。（文責 中津川恵子）

公務員一時金削減攻撃は労働者全体の攻撃！



5・18北河内地域集会

大阪労連がよびかけた「09春闘要求の前進、民間への新たな賃金合理化反対、公務員一時金削減反対北河内決起集会」が枚方で開催されました。北河内各市から24組合73名が参加。人事院が政治的圧力に屈し公務員の夏の一時金を0.2月削減する勧告を5月1日に行い、政府も8日に閣議決定し15日に国会提出、6月1日の基準日までに成立を狙う中での決起集会です。民間では09春闘と夏の一時金闘争とも結合した闘争の

真っ只中での集会です。田中議長は、「民間春闘はまだこれからであり、公務員一時金削減攻撃は労働者全体の攻撃であり民間と公務が力を合わせたたたかおう。政治を変えるたたかいは重要であり総選挙を勝利しよう」と挨拶。大阪労連宮武事務局長が連帯の挨拶。大阪国公の大石書記長と大阪自治労連前田書記長が「民間も公務も激しい攻撃があるが、ともに力を合わせ、ひざをまじえて論議しともにたたかいましょう」と報告しました。民間からは青年の参加が目立った集会でした。